

日本国際経済学会 九州・山口地区研究会 ミニシンポジウム

危機か回復か～世界経済の現在を見る～

2015年8月1日（土）14:00～17:00
西南学院大学 西南コミュニティセンター

リーマンショックから7年。先進国では金融市場での回復が喧伝される一方でそれが生活実感として得られていないといわれる。今後の世界経済を牽引するといわれる新興市場も踊り場に直面している。果たして危機に向かっているのか回復を遂げているのか。世界経済の現在を問う。

個別報告 (14:00～15:30)

伊豆 久 氏（久留米大学経済学部）
『ユーロ危機と ECB の金融政策』

石田 修 氏（九州大学経済学部）
『反ケインズ政策と世界経済：米中構造を中心に』

服部茂幸 氏（福井県立大学経済学部）
『アベノミクスは日本経済を回復させたのか』

パネルディスカッション (15:45～17:00)

伊豆 久 氏（久留米大学経済学部） 久保彰宏 氏（大阪市立大学経済学部）
石田 修 氏（九州大学経済学部） 立石 剛 氏（西南学院大学経済学部）
服部茂幸 氏（福井県立大学経済学部） 松永 達 氏（福岡大学商学部）

会場

福岡市早良区西新6-2-92 西南学院大学 東キャンパス内
西南学院大学コミュニティセンター2階会議室 092(823)3952
問合せ：松永達 tmatsu@fukuoka-u.ac.jp
立石剛 tatetake@seinan-gu.ac.jp